



令和 7 年 1 月 24 日
道路局道路交通管理課

令和 7 年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します！

～あなたの道路への思いをお寄せください～

国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、令和 7 年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としています。

◇募集テーマ◇ 道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇ 小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇ 令和 7 年 3 月 21 日（金）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇ 〔小学生の部〕最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品
〔中学生の部〕最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品
〔一般の部（高校生以上）〕最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品

◇応募方法◇ 電子メール又は郵送
※ 1 人 2 作品まで応募できます。

◇入選作品◇ 入選作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表彰◇ 国土交通省から賞状及び盾を贈呈いたします。

◇参考◇ 令和 6 年度推進標語・最優秀賞
小学生の部 「「おはよう」も 「またね」もひびく つうがくろ」
中学生の部 「その道に 笑顔のバトンを 繋げよう」
一般の部 「渡ります 元気な命が 歩いています」

※詳細は、別紙「募集要領」をご確認ください。

<問い合わせ先>

道路局 道路交通管理課
担当 水上、西川

Tel : 03-5253-8111 [内線 : 37422、37423] 03-5253-8482（直通）



令和7年度「道路ふれあい月間」推進標語募集要領

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、令和7年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としています。

◇募集テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇

令和7年3月21日（金）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔中学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔一般の部（高校生以上）〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品



R7 標語募集ページ

◇応募方法◇

1人2作品まで応募できます。

- 電子メールによる応募の場合（同一メールアドレスからの応募にて1人1回のみ）
メール本文に、標語と以下必要事項を記載のうえ、以下アドレスへ応募ください。

（応募用アドレス）

hqt-dourofureaigekkan128@gxb.mlit.go.jp

※国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

（必要事項）

氏名（フリガナ）、住所、電話番号、年齢

学校名（学生の場合）・応募部門の別

アンケート（応募のきっかけ（回答は任意））

（留意事項）

- ・上記応募アドレスが受信できるように設定してください。
- ・国土交通省ウェブサイト内「R7 標語募集ページ」に掲載の応募様式（個人用）に記入のうえ、応募いただくことも可能です。

R7 標語募集ページ：https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000163.html

●はがきによる応募の場合

はがきに、標語と以下必要事項を記載のうえ、以下宛先へ応募ください。

(宛先)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

(必要事項)

氏名(フリガナ)、住所、電話番号、年齢

学校名(学生の場合)・応募部門の別

アンケート(応募のきっかけ(回答は任意です))

●小学校・中学校単位での応募の場合(学年・クラス単位含む)

以下宛先へ各学校単位で作品をとりまとめたものを、封書にて郵送で応募ください。

なお、応募作品ごとに、「氏名(フリガナ)、学年、年齢、担当教諭名・連絡先」を記載してください。

(宛先)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

(留意事項)

- ・応募用アドレス宛に電子メールで応募いただくことも可能です。「R7 標語募集ページ」に掲載の応募様式(学校用)に記入のうえ応募ください。

※その他のファイル(Word等)でも受け付けます。

◇入選作品の発表・使用◇

作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表 彰◇

国土交通省から賞状及び盾を贈呈いたします。

◇その他◇

- ・応募作品の返却は致しません。
- ・入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・本募集で取得した個人情報、入選の作品の連絡・発表、表彰式のご案内にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

◇主 催◇

国土交通省

◇問い合わせ先◇

国土交通省道路局道路交通管理課 総務係 西川・松尾

(代表) 03-5253-8111

(内線) 37427・37423

(mail) hqt-dourofureaigekkan128@gxb.mlit.go.jp

令和7年度 「道路ふれあい月間」推進標語

募集中

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、令和7年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

“ 多くの方からのご応募お待ちしております ”

◇募集テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇ 小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇ 令和7年3月21日（金）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇

3部門（小学生の部・中学生の部・一般の部（高校生以上））

部門ごとに最優秀賞1作品、優秀賞2作品

◇応募方法◇ 電子メール又ははがき ※1人2作品まで応募できます。

◇入選作品◇

入選作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表彰◇

国土交通省から賞状及び盾を贈呈いたします。



R7標語募集ページ



R6標語活用例



》応募先・問合せ先

応募先：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3（応募用アドレス：hqt-dourofureaigekkan128@gxb.mlit.go.jp）
国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

問合せ先：国土交通省道路局道路交通管理課 総務係 03-5253-8111（内線 37427・37423）

主催：  国土交通省



令和 6 年 6 月 2 5 日

道路局 道路交通管理課

「渡ります 元気な命が 歩いています」

～令和 6 年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品が決定しました～

令和 6 年度「道路ふれあい月間」推進標語の入選作品（最優秀賞 3 作品、優秀賞 6 作品の計 9 作品）が決定しました。

国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しており、この一環として、令和 6 年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く一般から募集した結果、全国から 2, 5 4 7 作品の応募がありました。

これらの応募作品について、「令和 6 年度『道路ふれあい月間』推進標語審査懇談会」の三好礼子委員（エッセイスト、元国際ラリースト）、やすみりえ委員（川柳作家）、吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）の 3 名に選考いただき、[小学生の部][中学生の部][一般の部]の部門毎に、最優秀賞 1 作品と優秀賞 2 作品を決定しました。

入選作品の応募者には、「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から、賞状及び盾を贈呈いたします。

入選作品の標語は、令和 6 年度「道路ふれあい月間」の推進のため、幅広く活用する予定です。

※委員名は五十音順

問い合わせ先

道路局道路交通管理課 水上、西川

電 話 0 3 - 5 2 5 3 - 8 1 1 1（内線 3 7 - 4 2 2、3 7 - 4 2 3）

0 3 - 5 2 5 3 - 8 4 8 2（直通）

令和6年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆ 最優秀賞（3作品）◆

「小学生の部」

「「おはよう」も 「またね」もひびく つうがくろ」

たかとり まもる
鷹取 遵 さん （兵庫県 加西市立宇仁小学校）

「中学生の部」

「その道に 笑顔のバトンを 繋げよう」

はせがわ けいすけ
長谷川 慶佑 さん （福島県 福島大学附属中学校）

「一般の部」

「渡ります 元気な命が 歩いてます」

かみや なるみ
上谷 鳴海 さん （兵庫県 神戸学院大学附属高等学校）

◎最優秀賞3作品のうち、委員が特に高評価をした「渡ります 元気な命が 歩いてます」を
今年度の代表標語とします。

◆ 優秀賞（6作品）◆

「小学生の部」

「おもいやり はこぶようろう だいじにね」

こばやし とあ
小林 叶歩 さん （新潟県 長岡市立豊田小学校）

「駆け抜けた あの日あの子と あの道を」

しおばら ゆいな
塩原 結菜 さん （東京都 足立区立新田小学校）

「中学生の部」

「譲り合い ペこりとお辞儀 あったかい」

もり このか
森 心花 さん （兵庫県 三田市立ゆりのき台中学校）

「安全な 道路が届ける 人・物・心」

とつか れいか
戸塚 玲佳 さん （静岡県 菊川市立菊川西中学校）

「一般の部」

「タッタッタ 道路も私も 上機嫌」

うちだ れおん
内田 伶音 さん （山口県 下松市）

「この子らと 共に未来を つくる道」

さかい こうぞう
酒井 厚三 さん （北海道 札幌市）

【各委員からの総合選評】

《三好委員》



気持ちのいい挨拶、譲り合い、感謝と笑顔、希望と未来。作品には、これらの言葉が飛び交います。「道路」はもちろん、生活すべてをこんな気持ちで生きたら、どんなに素敵な世界になることでしょう。

毎回、傾向は微妙に異なりますが、今年度は「やさしさ」や「繋がり」がより感じられる言葉が多く並びました。コロナ禍から抜け出て肌が触れ合うような安堵感がさらに深まったのかもしれませんが。個人的には元旦の能登半島地震で改めて道路の重要性を思う毎日だったので、道路との関わりや有難さが感じられる作品も気になりました。独特な表現でパッと目につく作品もありましたね。

見聞きした人たちが瞬間で幸せになれるようなポジティブな標語が選ばれたと思いますが、今回も楽しく審査させていただきました。応募してくださったみなさん、有難うございました。

《やすみ委員》



皆さまから寄せていただいた標語の数々、言葉に託した思いを想像しながら選考させていただきました。

今年度も明るく前向きな気持ちにさせてもらえる内容が多く、心に響きました。

道路での人との出会いや、道路のある景色を通して感じる穏やかな日常。その先に、安心安全を願うメッセージが込められていましたね。

代表標語に決定した「渡ります元気な命が歩いてます」は言葉選びがしっかりとしていて印象的でした。とくに「元気な命」という表現が秀逸だと感じました。

絞り込んだ表現のようでありながら幅広い捉え方ができ、多くの人々の心に届く標語になることでしょう。

これからも「道路ふれあい月間」推進標語をきっかけに、思いやりの輪が広がることを願います。

《吉岡委員》



8月の「道路ふれあい月間」に向けて2500件を超える標語が寄せられました。多くの作品に道路を舞台にした人や車の様子がよみ込まれていて、生き生きとした空気を感じ取ることができました。

その中でも、選出された代表標語は命の大切さをまっすぐに歌い上げ、「渡ります」「元気な命」の言葉にははっとする強さと暖かさがあります。今ここで道路を渡るのは高校生の作者ご自身か、あるいは子供かお年寄り？ 多くの命を道路が預かっていることを改めて意識させられるような情景が目につかび、新鮮です。

【各委員から最優秀賞作品へのコメント】

小学生の部 【「おはよう」も 「またね」もひびく つうがくろ】

やすみ委員

最優秀作品は、毎日の通学路での場면을素直な言葉で表しています。「おはよう」は朝の様子、「またね」は下校の時間帯。挨拶の言葉をとおして時間の流れが伝わってきました。時間帯によって、道路は人や車の数も変化します。人の歩く速さも違ってくるでしょう。想像力を豊かにして受け止めた標語となっているのが大きなポイントです。

続く優秀賞の二作品についても温かみのあるまなざしで道路をとらえ、豊かな表現の標語になっています。

身の回りをよく観察し、まっすぐな気持ちを込めて伝えてくれた今回の小学生部門でした。

中学生の部 【その道に 笑顔のバトンを 繋げよう】

吉岡委員

この作品のキーワード「笑顔のバトン」は道路マラソンかリレーのイメージでしょうか。人と人の繋がりが思い浮かび、中学生ならではの友とのやり取りが路上で繰り広げられる光景も想像されます。見ても走っても充実感いっぱいのスポーツに気持ちを託した、さわやかな標語だと思います。

優秀賞の二作品からも道路へのそれぞれの思いが伝わってきます。「ぺこりとお辞儀」のユーモラスな表現によって譲り合いの場面がさらに暖かくなるようです。「道路が届ける人・物・心」からは、日常も災害時も含めた道路の存在感に改めて気づかされます。

一般の部 【渡ります 元気な命が 歩いてます】

三好委員

リズムカルで言葉の並び方もユニークな上谷さんの「渡ります」。その鼓動が聞こえてきそうな「命」という言葉にドキッとさせられました。こんな風にストレートに言われると、思わず運転者の姿勢も正されそうです。実は、審査懇談会の話し合いの中でグイグイ浮上した作品でした。「命」のテーマはあるものの、ここまで素直にその大切さを感じられるのは珍しく、とても新鮮。三者が妙に気になり、ついには代表標語に（作者は高校生でした）。

また、優秀賞となりました内田さんの「タッタッタ」など、勢いや明るさや個性的な言い回しが多く並んだ一般の部、選考も楽しかったです。酒井さんの「この子らと」は、見守る優しさと力強さが感じられて大好きですが、なぜか夕景が浮かびました。言葉の力は深いですね。